



## ほ場をよく見て、茎数をしっかり確認！

①茎数が少ない場合は茎数確保を急ぎましょう！

②有効茎数を確保したほ場から遅れずに中干しを行いましょ！

### ◎ 生育概況と技術対策

「雪若丸」の6月19日現在の県全域の生育は、平年値に比べて草丈は長く、茎数は少なく、葉数は平年並み、葉色は濃い状況となっています。特に内陸では茎数が不足しているほ場が多くなっています。

内陸平坦部「雪若丸」の生育（6月19日）

項目	調査値	平年値	平年比・差	概況
草丈	31.4 cm	29.5 cm	106	長い
茎数	368 本/m <sup>2</sup>	447 本/m <sup>2</sup>	83	少ない
葉数	7.8 枚	7.8 枚	0.0	平年並み
葉色 (SPAD)	45.8	42.9	2.9	濃い

(農業技術普及課調べ)

庄内平坦部「雪若丸」の生育（6月19日）

項目	調査値	平年値	平年比・差	概況
草丈	33.1 cm	31.5 cm	105	長い
茎数	605 本/m <sup>2</sup>	523 本/m <sup>2</sup>	116	多い
葉数	8.5 枚	8.3 枚	0.2	平年並み
葉色 (SPAD)	46.4	44.5	1.9	やや濃い

(農業技術普及課調べ)

### (1) 茎数確保が遅れているほ場は、浅水管理を継続して分けつ促進！

2週間気温予報によると、今後は気温の高い日が多い見込みです。

この機を逃さず、日中止水、夜間かんがいを徹底し、水深2～3cmの浅水管理で分けつを促しましょう。

土壌の異常還元（ワキ）がみられた場合は、田干しや夜間落水を行い、根圏環境の改善を図ります。

6月20日の茎数が300本/m<sup>2</sup>以下、葉色40以下の場合は、窒素成分量1kg/10a程度を補完施用し、分けつを促進します。(施用した場合は、追肥量を減肥します)

### (2) 有効茎数を確保したほ場から遅れずに作溝・中干し！

「雪若丸」は、6月中（8～9葉期まで）に有効茎数（560～580本/m<sup>2</sup>）を確保することが高品質・良食味米生産と適正籾数確保のポイントです。庄内地域では多くのほ場で有効茎数を確保している状況です。

有効茎数を確保したほ場では、直ちに作溝・中干しを行いましょ。

### (3) 穂肥前の生育制御

幼穂形成期（出穂25日前）まで葉色を40未満に低下させないことが管理のポイントです。

6月30日の生育診断で穂肥をしっかりと行える生育となるように、茎数や葉色をコントロールします。

6月30日の適正生育量

茎数	葉色 (SPAD)
560～750本/m <sup>2</sup>	40～44

**葉もちが本田で確認されています。ほ場の観察を行い、早期発見に努め、発生初期に防除しましょ！**

**斑点米カメムシ類やや多い！畦畔の草刈りを徹底しましょ！**